

事業番号	0	5	2
実施計画事業	○		
実施計画事業以外の事業			

令和元年度 事務事業評価シート

1. 事業の概要

事務事業名	特色ある学校づくり推進事業				担当部	教育委員会事務局					
事業期間	平成15年度 ~ 令和2年度以降				担当課	学校教育課					
新基本計画 (平成26年~平成30年)	基本施策	12	展開方向	3							
予算区分	一般会計	款	10 教育費	項	01	目	03	大	08	中	03

2. 実施状況

各小中学校が創意工夫をし、より一層保護者も含めた地域住民と連携し、「地域とともにある学校づくり」の取り組みを進めた。

○(実計)JFAこころのプロジェクト「夢の教室」

トップアスリートなどが「夢先生」として、自らの体験をもとに「夢を持つこと、その夢に向かって努力することの大切さ」などを講義と実技を通じて子どもたちに伝えることで、子どもたちの健全な心身の成長を図った。(小学校5年 1437人)

○(実計)コミュニティ・スクール

学校行事への地域からの支援など学校運営の効率化や、防災、子育てといった地域が抱えるニーズへの学校の支援など、双方が補い支え合う良好な関係の構築を目指し、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)を全小中学校に設置した。

○特色ある学校づくり事業

学校ごとに、定めている教育方針に基づく特色ある教育活動を展開し、多様なこどもの個性を柔軟に伸ばすとともに、保護者も含めた地区住民と連携して「特色ある学校づくり」を行った。

○こども議会

平成31年度からを計画期間とする「まちづくり推進計画」の策定に併せて開催することにより、今後のまちづくりにこどもの意見を取り入れるとともに、こどもたちの社会性を育み、市議会の仕組みを学び、市政に興味・関心を持ってもらった。こども議員として自分たちが考える小牧の将来像について、理事者に質問や提言を行った。(各中学校3名参加)

3. 総合診断

事業費	項目	単位等	H27	H28	H29	H30	R1	
直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	21,743	21,087	20,621	20,386
			国・県支出金	千円	1,000	0	0	0
			その他	千円	5,000	5,849	6,010	6,090
		計(A)	千円	27,743	26,936	26,631	26,476	
	対前年比	%	-	97.1%	98.9%	99.4%		
	(当初)予算額	千円	28,454	27,800	28,395	27,950	25,930	
	人件費	正職員	人	0.05	0.05	0.05	0.05	
		正職員(平均人件費)	千円	374	374	374	374	
		その他職員	人	0	0	0	0	
		その他職員(時給×年間時間)	千円	0	0	0	0	
計(B)	千円	374	374	374	374			
事業費合計(C=A+B)		千円	28,117	27,310	27,005	26,850		
指標	成果指標	夢の教室開催回数	目標	44	44	45	45	-
			実績	44	44	45	45	
	活動指標	事業実施校	目標	25	25	25	25	-
			実績	25	25	25	25	
			目標					
			実績					
	@事業費	受益者数(a)	人	13,242	13,129	12,866	13,029	
		受益者あたり事業費(b=C/a)	円	2,124	2,081	2,099	2,061	

	改善点は見られない	○	改善点が若干見られる		大いに改善すべき
	<p><b>診断結果</b></p> <p>○(実計)夢の教室 小学校5年生を対象にして、夢を持つことの素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さを、トップアスリート等の夢先生が子どもたちに伝え、また、子どもたちは自分の夢を考えて、その夢を成し遂げるために具体的にどうするのかを考える事業を実施した。 事業額は、クラス数の増減等により増減する。</p> <p>○(実計)コミュニティスクールの推進 「目指すこどもの姿」や「目指すべき学校の姿」など目標やビジョンを学校と地域が共有するとともに、今後の活動について話し合いを行うため、コミュニティスクールを導入し、各学校に学校運営協議会を設置した。</p> <p>○特色ある学校づくり推進事業 コミュニティスクール事業とあわせて、見直しを実施し、一括交付金化を検討した。</p> <p>○こども議会 単年度事業</p> <p>それぞれの事業を実施、経常的な事業については、今後も継続していく。 夢の教室開催事業については、これまでどおり小学5年生全クラスで実施していくが、クラス数の増減等により、対象・事業費が増減する。</p>				

4. 総合評価

事業の方向性 削減額・対象	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの				
	事務事業評価による額	千円	予算区分	節	節	
<b>評価結果</b>	<p>○(実計)夢の教室 ○(実計)コミュニティスクールの推進 ○特色ある学校づくり推進事業 コミュニティスクール事業とあわせて、特色ある学校づくり事業補助金の見直しを実施し、一括交付金化を検討する。</p>					
	<p>総合的には、コミュニティスクール推進と特色ある学校づくり事業を合わせて見直し、一括交付金化を検討していくが、当該事業としては事業全体のボリュームとして「維持」と判断した。</p>					